



双塔

カトリック新潟教会

2019年7月
No. 374

現代世界における聖性

協力司祭 ホセ・ルイス・ロレンソ

教皇フランシスコの使徒的勧告『喜びに喜べー現代世界における聖性』の第四章には五つの神様と隣人に対する愛の表現が書かれています。これらは聖性のしるしにもなっています。今回はそのことについて分かち合いたいです。

1. 忍耐力、根気、柔和な心

人間関係のことは難しい時もあります。しかし、神様はいつも私たちを愛し、支えてくださるので、必要な恵みを必ず与えてくださいます。この世には悪はあるが、“悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい”（ローマ 12:21）と聖パウロが書いていました。それに、聖人たちは自分よりも他人の方が優れているという思いをもっていて、それは私たちの模範になります。謙遜な心は隣人を愛することにつながっています。

2. 喜び、ユーモアの感覚

聖人たちは自分たちの十字架を背負いながら、喜びの心をもっていた。神様に愛されている喜びです。そして、隣人を愛する成果は喜びです。受け取るよりも与える方が幸せということです。自分のことだけ考えると幸せな生活にならないのです。

3. 大胆さ、情熱

奉仕する心は聖性のしるしです。時々、人は隣人を助ける責任から逃げたい気持ちがあります。イエス様は難しいことから逃げることなく、人たちをいつも助けてくださいました。私たちはイエス様の弟子として、福音を人々に伝えなければなりません。勇気をもって、自分の信仰を言葉と行いであかししましょう。イエス様の約束を信じましょう。

“私は世の終わりまであなたがたと共にいる”（マタイ 28:20）

4. 共同体の大切さ

聖性の成長をするために、共同体との歩みが必要です。家族、小教区、職場など、いつも私たちは共同体との交わりがあります。私たちの聖性への道はイエス様の祈りにつながる。

“父よ、あなたは私のうちにおられ、私があなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください”（ヨハネ 17:21）

5. いつも祈る

聖人たちは神様との交わりを望んでいて、神様を慕う心をもっています。神様の存在を感じるためには、神様のための時間を作らなければなりません。沈黙の中で神様がそばにいることを体験できます。神様に何かを願うときに、それは神様を信頼しているしるしでもあって、隣人を愛するしるしでもあります。聖書を読むときに祈れば、神様の言葉をもっと味わうことができます。ミサの時にイエス様自身を捧げているから、ミサが一番優れている祈りなのです。